

低炭素建築物新築等計画の認定基準案に関する意見の提出について

社団法人日本建設業連合会は、国土交通省による「低炭素建築物新築等計画の認定基準案に関する意見募集」に対して、意見提出を行いました。

低炭素建築物新築等計画に係る認定基準について、省エネルギー法に基づく省エネルギー基準を超える性能を求めることに加え、定量的評価は難しいが、法律や基本方針の趣旨を踏まえて取り組む措置が選択的項目として評価されることになるのは、大変有益なことであると考えます。

提出意見は当会の立場だけでなく、告示に基づいて申請資料作成や具体的計算を行う申請者・設計者・評価者の立場からの意見といたしました。

提出意見の概要

①告示案の算定法、数値等について

告示案の算定法、数値等については、エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準案に対する意見と同一のため、左記の当連合会からの意見を全て参照いただきたい。

②容積不算入事項の早期確定の要望

認証されて初めて容積不算入が確定するので、それまでは床面積変動のリスクがある。またどの部分が容積不算入になるかが確定しないリスクもあり、それらが認定取得を阻害する要因ともなる。すなわち、容積不算入の範囲の確定を早期に行い、申請の床面積を確定することが重要である。そのために、不算入部分に関する技術的解説、審査機関による適合証制度等の活用、早期調整に関する所管行政庁への周知等の検討をお願いしたい。

③誘導すべきその他の基準の技術資料の開示

講習会等で示されることと思われるが、第 1 の 1～8、第 2 の技術資料を早期に開示いただきたい。

- ・節水に資する便器の基準
- ・節水に資する水栓の基準
- ・BEMS の基準
- ・HEMS の基準細則
- ・雨水、井水または雑用水利用のための設備を設置していることの基準細則
- ・再生可能エネルギーの設置基準・蓄電池の設置基準
- ・第 2 の具体的なツールや所管行政庁ツール等に関する説明をいただきたい。(CASBEE の LCCO2 等についての細則等)

④誘導すべきその他の基準に対する意見・質疑

- ・日射遮熱塗料による低減措置の項目への追加要望
- ・木造建築物について、木造と RC 造や S 造の混合構造（混合構造）は対象とならないか。
- ・高炉セメント又はフライアッシュセメントを構造耐力上主要な部分に使用していることについては、セメントの特性に応じて構造上主要な部分の一部に使用されていることでよいか。

⑤認定基準用計算プログラムに関する質疑と要望

- ・認定戸建算定用プログラムと同じく、住宅版の省エネ基準用算定プログラムを公表いただきたい。省エネ基準で計算しているか、認定基準で計算しているかの、利用者のプログラム利用時の認識が必要である。非住宅、住宅ともに、省エネ基準、認定基準双方のプログラムが使用されていくことになる（基準値及び計算式も異なる）ので、混同がないように広く周知していただきたい。
- ・公表されるプログラムで認定基準計算を行い、認定基準を取得したあとに、プログラムのバグが発覚した場合の措置について説明いただきたい。

⑥非住宅建築物における認定基準のインセンティブについての要望

低炭素化認定法制化に関しては、社会資本の整備・不動産価値向上に資することで、都市レベル及び建物単体での低炭素化の促進が、民間事業主のメリットとなることを社会的な認識にしていく必要がある。その意味で、下記のような点について社会に説明していただく、また c)については検討していただけるとありがたい。

a)認定基準法制化の背景と既存の評価方式との具体的な対照明示

b)建築単体についての一般的モデル（事務所、住宅、集合住宅、学校、病院等）での定性的定量的検証

c)認定評価による活性化インセンティブの明示

- ・改修時の断熱材追加における床面積不算入、ダブルスキン改修時の床面積不算入等
- ・告示に示される項目以外の低炭素化に資する設備（例：地中熱ヒートポンプ設置時の標準設定熱源に対しての面積増等）の面積不算入
- ・非住宅建築物や共同住宅においても戸建住宅と同様、できれば平成 25 年度からの税等の軽減措置、グリーン都市減税制度、法人減税制度、補助金制度など
- ・認定建物についての容積緩和策
- ・省エネルギー改修補助金制度と本認定制度の連携

d)認定実務のフロー、メニューの評価明示

e)認定実務の簡素化

⑦重要なデータの集計可能な書式の検討

認定の届出においては、1 次エネルギー基準値、1 次エネルギー設計値、その他の基準の採用項目に加えて、電力消費量、ガス消費量、重油等の消費量、設備ごとの原単位、設計値/基準値（BEI）など、将来の省エネ法の改定に資するような統計データを集計可能な書式を検討していただきたい（CASBEE 等で 1 次エネルギーを転記し、また CO2 排出量への換算を行うため）。